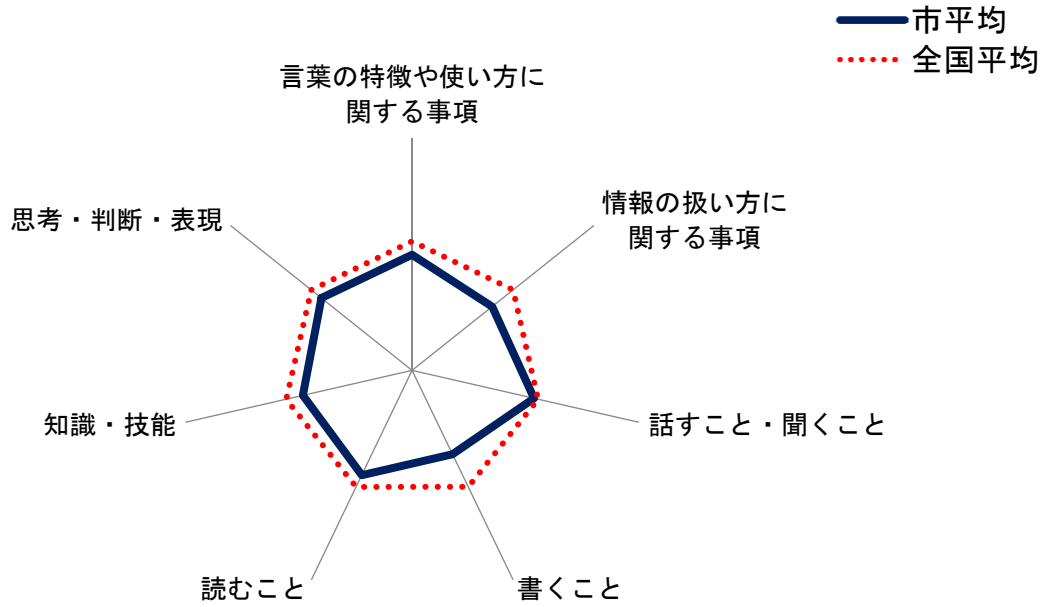
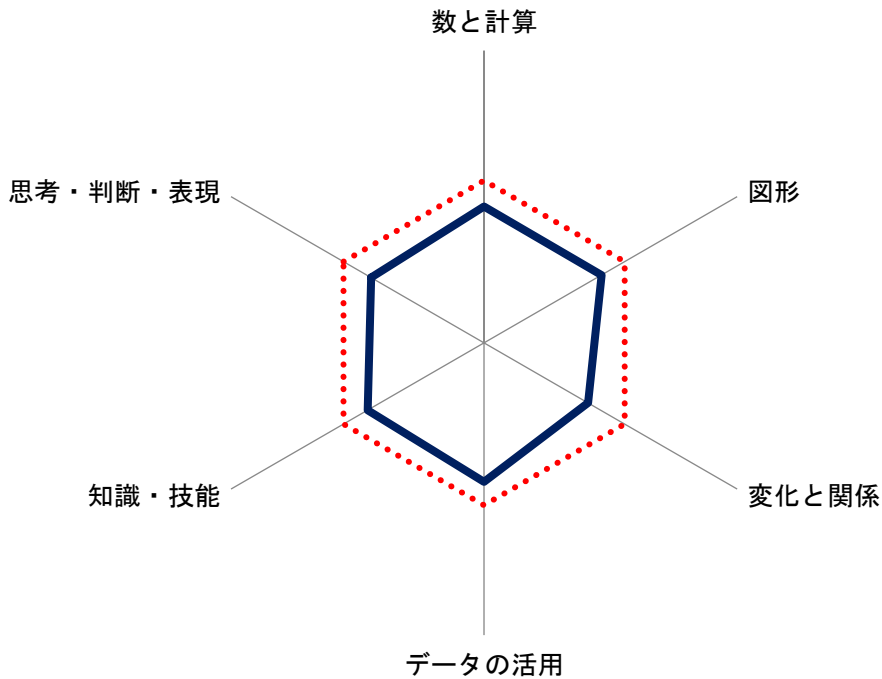


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

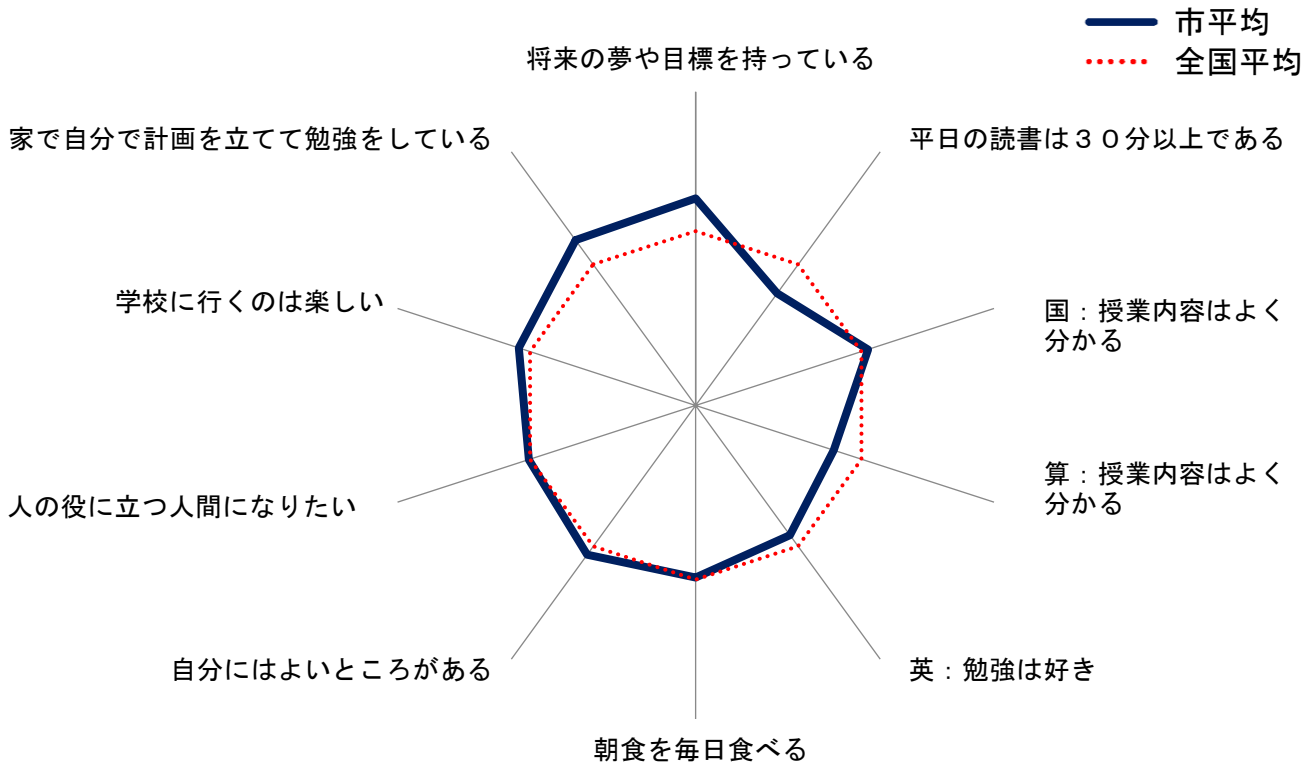
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、全ての項目が全国平均を下回っている。特に、国語の「書くこと」「情報の使い方に関する事項」、算数の「変化と関係」の項目は、全国平均との差が他の項目に比べて大きく、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行うことで成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、キャリア教育の充実の成果がうかがえる。一方、算数の「授業内容はよく分かる」、「平日の読書は30分以上である」の項目が依然として全国平均を下回っている。今後は、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ねるとともに、市独自の授業モデルによる授業改善をより一層推進していくことが望まれる。